

コミュニティにおける 食支援活動から 未来を探る

食と栄養・交流つながり・地域づくり



2024
9/26 THR
13:00-16:00

会場：キューピー株式会社本社ビル2F
キューピーホール（渋谷駅徒歩約10分）
【オンライン併用】

主催：一般社団法人 全国食支援活動協力会
共催：Meals on Wheels South Australia

日本⇄オーストラリアの40年間の交流

1983年、MOWSAのボランティアの関係者が東京世田谷の「ふきのとう」の会食会を見学したことがきっかけで交流が始まりました。

1985年にはMOWSAの理事メンバーを招いて日豪食事サービスシンポジウムを開催。この場で全国老人給食連絡協議会（全国食支援活動協力会の前身）発足が決まりました。

1990年代から2000年代は全豪MOW大会の開催にあわせて研修ツアーを実施し、2001年には南オーストラリア州厚生大臣の立会のもとMOWSAと「全国食支援活動協力会」間で友好協定を締結しました。定期的に連絡を取り合い、両国を訪問するなど交流が続いています。



South
Australia

ミールズ・オン・ホイールズ南オーストラリア協会 (MOWSA)
1954年設立。南オーストラリア州のボランティアによる高齢者給食団体で、2021年の事業報告によると約6000人のボランティアが80カ所の拠点から1日4000食以上の昼食を配達している。

一般社団法人 全国食支援活動協力会

1986年設立。会食会・配食・食育など“食”で支え合う活動の連絡会として、子どもや多様な世代が参加する食の居場所づくり推進に取り組んでいる。



プログラム

第1部 活動紹介

日豪のコミュニティにおける食支援活動

コーディネーター 清水 洋行氏

(千葉大学教授 全国食支援活動協力会常務理事)

[AUS] Sharyn Broer氏

Meals on Wheels (SA)Inc. CEO



Julie Bonnici氏

Meals on Wheels (SA)Inc. GM



[JP] 平野 覚治 氏

一社)全国食支援活動協力会 専務理事

第2部 パネルディスカッション

コミュニティ・非営利セクターが担う食支援活動の価値と期待

パネリスト (予) :

MEALS ON WHEELS (SA)

全国社会福祉協議会 地域福祉部部长 高橋良太 氏

公益財団法人キューピーみらいたまご財団 理事長 長南収 氏

厚生労働省老健局認知症施策・地域介護推進課地域づくり推進室 室長補佐

岸英二 氏

消費者庁 食品ロス削減推進室 課長補佐 松井瑞枝 氏

内閣府孤独・孤立対策推進室 企画官 土屋皓嗣 氏

農林水産省・新事業・食品産業部/外食・食文化課食品ロス・リサイクル対策室室

長 鈴木学 氏

全国食支援活動協力会



コミュニティにおける食支援活動から 未来を探る

食と栄養・交流つながり・地域づくり

配食サービス、会食会、地域食堂、こども食堂、フードパントリー、食育活動などの食支援活動は、「食」を通じて健康や福祉の増進に寄与するばかりでなく、利用者同士、利用者とボランティア、ボランティア同士など人々をつなぎ、コミュニティづくりを進める力をもっています。食支援活動が活性化することで、多様な人が参加できる場が増え、担い手としての参加機会が増え、結果高齢者をふくむ多様な市民の役割や出番を創出し孤独・孤立の解消や介護予防につながる事が期待されます。本シンポジウムでは、オーストラリアと日本における食支援活動の実践から、コミュニティにおける活動の価値と今後について話し合います。

- 場所: キューピーホール (渋谷区渋谷1丁目4-13) +zoom オンライン併用
- 日時: 2024年9月26日(木) 13:00~16:00
- 参加費: 無料 (事前申込が必要です)
- 登録方法: 下記のフォームからお申し込み

お申し込み

<https://forms.gle/wx6mdKesi6GkXcxF9>